

## Model MT-876 黒球付小型熱中症計

熱中症予防対策、労働環境等の安全管理に  
熱中症の要因である気温・湿度の測定、日射や輻射熱も考慮でき  
る黒球式を採用した熱中症対策温度計です。

JIS B 7922クラス 2 準拠

### 3種類のアラームを選択できます。

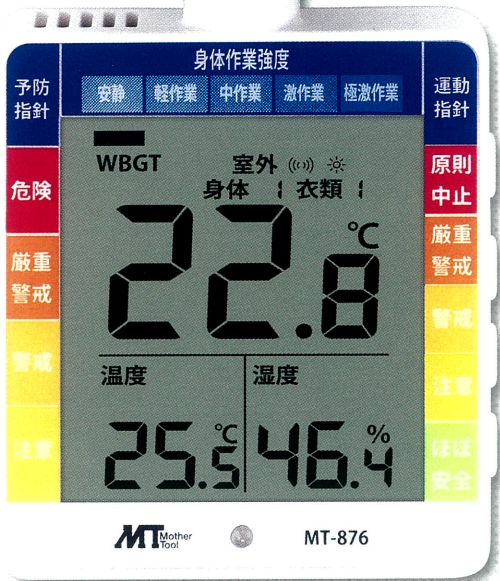
- ①身体作業強度(厚生労働省)
- ②日常生活の予防指針(日本気象学会)
- ③運動の予防指針(日本体育協会)

MT-876は室内、室外、衣類の種類、作業や運動内容を設定することによって、熱中症の危険性をWBGT表示とアラームでお知らせします。



暑熱環境下全般 / 建設工事 / 貨物運搬 / 運送 / 林業 / 農作業 / 警備 / 製造工場 / 倉庫作業 / 教育機関 / 公共施設体育館 / スポーツイベント / 介護施設 / 医療機関 / 引越作業 / 住居等

#### ご利用環境



希望小売価格

6,000円(税別)

JANコード

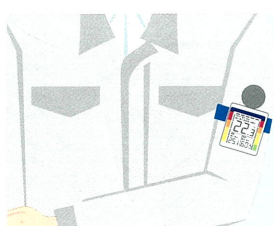
4986702303891

#### ネクストラップ アームバンド カラビナ標準付属

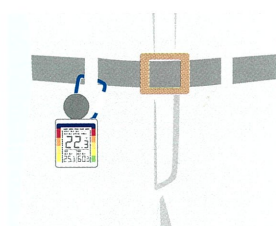
標準の付属品を使用して様々なシーンでご利用ください。



ネクストラップ(首ぶら下げ)

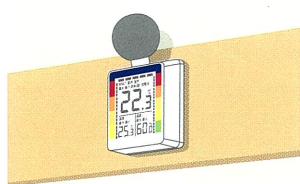


アームバンド(腕巻)



カラビナ利用(ベルト通し)

#### 壁掛け



#### 三脚利用



三脚を利用した地面定点の測定や、壁掛けにも対応しています。

予防指針 (3種類から選択)	日常生活における熱中症予防指針 熱中症予防運動指針 身体作業強度等に応じたWBGT基準値
温度	表示範囲 0.0~50.0°C
	分解能 0.1°C
	精度 ±0.6°C (20.0~50.0°C) 左記以外 ±1°C
湿度	表示範囲 10.0~95.0%RH
	分解能 0.1%RH
	精度 ±5% (30.0~90.0%, 20~30°C) 左記以外 ±7.0%
WBGT	表示範囲 0.0~50.0°C
	分解能 0.1°C
	精度 ±2.0°C
黒球	表示範囲 0.0~80.0°C
	分解能 0.1°C
	精度 ±0.6°C (20.0~50.0°C) 左記以外 ±1°C
サンプリング	約20秒/回
警告アラーム	75dB/OFF
アラーム時間	15秒(ブザー/LED/ブザー+LED/OFF)
規格	JIS B 7922 クラス2
使用環境	温度: 0~50°C 湿度: 0~90% 風速: 0.3m/s以上
機能	衣類の組合せによりWBGT値に加えるべき補正值(身体作業強度に連動) ローバッテリーマーク/最大値・最小値表示/室内室外モード
表示文字高	約17mm(WBGT表示)
寸法	本体: 65×117×50mm 黒球: φ40mm
重量	80g
電源	単4形アルカリ電池×2(電池寿命: 約6か月)
付属品	単4形アルカリ電池×2、アームバンド、カラビナ、ストラップ、取扱説明書

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。予めご了承ください。  
※地上から1.2m以上の高さで測定してください。  
※風速が0.3~3.0m/s以外のとき、WBGT値に誤差が発生する場合があります。



# 熱中症対策していますか？

暑さ指数(WBGT値)を把握し熱中症対策をしましょう！

- 暑さに慣れていませんか？ ■作業の中止や中断の必要はありませんか？
- 水分や塩分をきちんと取っていますか？ ■体調に問題はありますか？



①労働安全  
身体作業強度等に応じた  
WBGT基準値



②日常生活  
日常生活における  
熱中症予防指針



③スポーツ  
熱中症予防のための運動指針

## ①身体作業強度等に応じたWBGT基準値

WBGT基準値				代謝率区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例
熱に順化している人		熱に順化していない人			
33℃		32℃		0. 安静	安静
30℃		29℃		1. 低代謝率	 楽な座位での軽い手作業、手及び腕の作業、腕と脚の作業(タイピング・簿記・乗り物の運転など) 立位での小さい力の道具を使った機械作業(ドリル・フライス盤作業など)ちょっとした歩き(速さ3.5km/h)
28℃		26℃		2. 中程度代謝率	 継続した頭と腕の作業(釘打ち・盛土) 腕と脚の作業(建設車両・トラックのオフロード操縦) 腕と胴体の作業(果物や野菜の収穫・トラクター組立) 軽量の荷車などを押したり引いたりする作業 3.5~5.5km/hの速さで歩く 鍛造
気流を感じないとき 25℃	気流を感じる時 26℃	気流を感じないとき 22℃	気流を感じる時 23℃	3. 高代謝率	 強度の腕と胴体の作業(重い材料を運ぶ・草刈り・シャベルを使った掘削) 重い荷車などを押したり引いたりする作業 コンクリートブロックを積む作業 5.5~7.5km/hの速さで歩く
気流を感じないとき 23℃	気流を感じる時 25℃	気流を感じないとき 18℃	気流を感じる時 20℃	4. 極高代謝率	 最大速度の速さでとても激しい活動 おのを振るう シャベルを使った激しい掘削 階段を上る、走る、7km/hより速く歩く

※本表は、日本工業規格Z8504(人間工学—WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境)「WBGT熱ストレス指数の基準値表」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成したものです。 ※熱に順化していない人とは、「作業する前の週に毎日熱にばく露されていなかった人」のことをいいます。

## 衣類の組み合わせによりWBGT値に加えるべき補正值

下記の衣類を着用して作業を行う場合にあっては、算出されたWBGT値に、各補正值を加えてください。

衣服の種類	作業服(長袖シャツとズボン)	布(織物)製つなぎ服	二層の布(織物)製服	SMSポリプロピレン製つなぎ服	ポリオレフィン布製つなぎ服	限定用途の蒸気不浸透性つなぎ服
WBGT値に加えるべき補正值(℃)	0℃	0℃	3℃	0.5℃	1℃	11℃

※補正值は、一般にレベルAと呼ばれる完全な不浸透性防護服に使用しないでください。 ※重ね着の場合に、個々の補正值を加えて全体の補正值とすることはできません。

## ②日常生活における熱中症予防指針

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動	注意事項
危険(31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。
嚴重警戒(28~31℃)	すべての生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒(25~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる
注意(25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より  
 ※(28~31℃)及び(25~28℃)については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。

## ③熱中症予防のための運動指針

気温	WBGT温度	運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31~35℃	28~31℃	嚴重警戒(激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。
28~31℃	25~28℃	警戒(積極的に休息)	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。
24~28℃	21~25℃	注意(積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意する。
24℃まで	21℃まで	ほぼ安全(適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。

※(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

**M** Mother Tool 株式会社 マザーツール  
 デジタル計測器 & 監視カメラシステム

〒386-0033 長野県上田市御所431-6  
 TEL 0268-25-2332 FAX 0268-25-2398  
<http://www.mothers-tool.co.jp>